



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

しらこぼと

2008.8

No. 292

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O

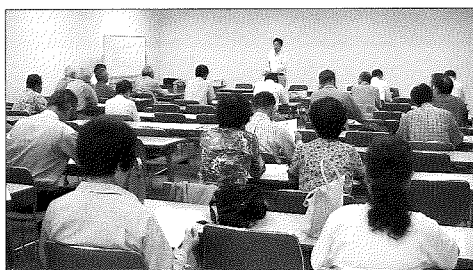
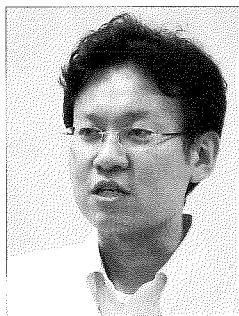


平成 20 年度(第 24 回)支部総会を開催

平成 20 年 6 月 29 日(日)午後 1 時 30 分から、さいたま市立浦和コミュニティーセンターで、支部総会を開催しました。

●記念講演

浅見徹の司会で始まり、記念講演は、本部会員室の齋藤英一郎氏(右写真)の「財団事務局で取り組んでいる会員拡大策」。平成 19 年度全国の会員数に関するデータをもとに、お話し入会、ダイレクトメール、オンライン入会などについて講演しました。



●議長など

藤掛保司支部長の開会の挨拶で総会が始まり、海老原美夫事務局担当副支部長が、公益法人制度改革に伴う支部の名称に関する件について、当支部が日本野鳥の会と一体となって活動を続けることに何ら変わりはないと説明しました。山部直喜が議長に、青木正俊が書記、長野誠治・山口芳邦が議事録署名人に選出されて、議事に入りました。

●19 年度事業報告と 20 年度事業計画(案)

海老原が平成 19 年度に実施した事業について説明し、各部長や普及活動を担当した人たちがそれぞれ補足説明をしました。主な部分は次の通りです。

【総務・事務局関係】

一時は前年度末より会員数が増加したが、年度末にはまた減少してしまった。関東ブロック協議会、全国ブロック連絡会議などに出席した。

【保護活動関係】

シロハラクイナ保護農家の協力を得て「農家と野鳥の会の協力イベントー米作り体験」を実施した。かわせみ河原鳥獣保護区新設案・第 10 次鳥獣保護事業計画案などに意見書を提出した。

【普及活動関係】

普及部(部長:橋口長和)が担当した探鳥会は、計画 115 回、雨天中止 5 回、実施 110 回 = 1 ヶ月平均 9.2 回、合計参加者数 4,680 人 = 1 回平均 42.5 人に及んだ。その他、学校などで 10 件の普及活動をした。

【調査研究関係】

研究部(部長:小荷田行男)は、タカの渡り、カモ・ハクチョウ類、シギ・チドリ類、県内野鳥分布調査を継続した。

記録委員会(委員長:小林みどり)は、3 種を初確認として記録し、4 種について解説または報告した。

【編集活動関係】

編集部(部長:山部直喜)は、『しらこぼと』を年 12 回、合計 24,300 部発行した。

【事業活動関係】

事業部(部長:福井恒人)は『フィールドガイド日本の野鳥改訂増補版』の販売が目立った。

引き続き、年度内会員数減少ゼロを目指す、関東ブロック 6 支部共同シラコバト調査を実施するなどの 20 年度事業計画(案)が説明され、一括承認されました。

●19 年度決算と 20 年度予算(案)

19 年度決算について、仮払金、振替未了金の内容、各項目の予算額との対比などについて海老原が説明、石川敏男・楠見邦博両監事が監査結果を報告しました。20 年度予算案についても説明があり、一括承認されました。

●20年度役員

前年度役員のうち年度中に退任申し出のあった島田恵司を除く40名を再任、新たに中村豊己を新任として推薦する案が承認されました。新役員の挨拶の後、総会を一時中断して20年度役員による最初の役員会を同じ場所で開催、前年度と同じ支部長・副支部長・監事を選出することが議決されました。

〔支部長〕 藤掛保司(川崎市)

〔副支部長〕 海老原美夫(さいたま市)

〔幹事〕 青木正俊(さいたま市) 浅見徹(さいたま市) 新井巖(深谷市) 石井智(鴻巣市) 石光章(所沢市) 伊藤芳晴(川口市) 井上幹男(長瀨町) 内田孝男(古河市) 榎本秀和(鴻巣市) 大坂幸男(上尾市) 大澤祐(深谷市) 北川慎一(本庄市) 喜多峻次(小川町) 工藤洋三(さいたま市) 倉林宗太郎(さいたま市) 小池一男(寄居町) 後藤康夫(嵐山町) 小荷田行男(さいたま市) 小林みどり(大和市) 佐久間博文(川崎市) 杉本秀樹(習志野市) 田中幸男(蓮田市) 田邊八州雄(越谷市) 玉井正晴(蓮田市) 手塚正義(川口市) 内藤義雄(鴻巣市) 中里裕一(騎西町) 中島康夫(蓮田市) 中村豊己(東松山市) 長野誠治(さいたま市) 橋口長和(春日部市) 長谷部謙二(川崎市) 菱沼一充(白岡町) 福井恒人(さいたま市) 持丸順彰(志木市) 山口芳邦(新座市) 山部直喜(三郷市)

〔監事〕 石川敏男(春日部市) 楠見邦博(さいたま市)

日本野鳥の会埼玉県支部19年度決算・20年度予算

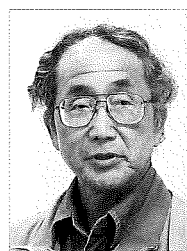
収入の部

	項目	19年度決算	20年度予算
一般会計	期首繰越金	3,994,541	3,802,466
	会費	3,360,850	3,400,000
	寄付金	28,734	20,000
	探鳥会参加費	329,067	300,000
	雑収入	16,021	15,000
	補助金	200,000	200,000
	仮払い金清算	29,588	0
	一般会計合計	7,958,801	7,737,466
事業部会計	期首繰越金	1,800,181	2,011,559
	運営準備積立金	5,000,000	5,000,000
	事業部売上金	606,488	700,000
	事業部雑収入	9,434	5,000
	振替未了金	110,492	0
	事業部会計合計	7,526,595	7,716,559
総合計		15,485,396	15,454,025

支出の部

	項目	19年度決算	20年度予算
一般会計	什器備品費	40,525	100,000
	消耗品費	4,947	20,000
	支部報印刷費	1,249,761	1,300,000
	支部報送送料	927,502	980,000
	印刷コピー代	100,824	230,000
	通信費	128,111	170,000
	雑費	129,570	130,000
	家賃	984,000	1,200,000
	水道光熱費	52,829	60,000
	総務部費用	146,754	130,000
	普及部費用	150,172	220,000
	編集部費用	30,700	50,000
	研究部費用	11,020	30,000
	予備費	0	500,000
	仮払金残	89,128	0
	振替未了金	110,492	0
		期末繰越金	3,802,466
	一般会計合計	7,958,801	7,737,466
事業部会計	事業部仕入れ金	513,251	600,000
	雑費	1,785	5,000
	運営準備積立金	5,000,000	5,000,000
	期末繰越金	2,011,559	2,111,559
	事業部会計合計	7,526,595	7,716,559
総合計		15,485,396	15,454,025

新役員 中村豊己



2008年春 シギ・チドリ類調査報告

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

日時：2008年4月29日 9:35～11:10

場所：さいたま市 大久保農耕地

天候：晴れ

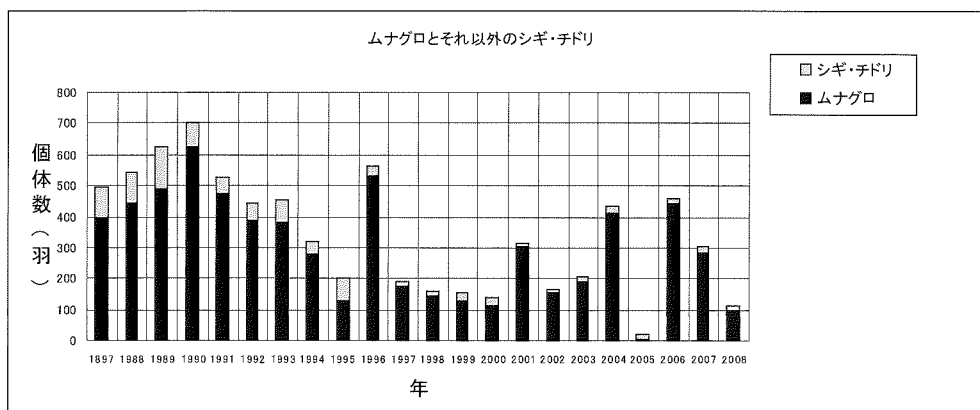
当日は日本の東に高気圧があり、関東地方は晴れました。

観察された種数、個体数は5種114羽で、昨年と比べると種数は同じですが、個体数では190羽少なくなりました。これは、昨年にくらべるとムナグロが185羽少なかったことが大きな原因です。今回の調査でもA s 区でほとんどのムナグロ(97羽)が確認されま

した。調査時間外にA 区でチュウシャクシギが1羽、キアシシギが2羽確認されたことを付け加えておきます。

グラフは春のカウント結果のうち、大久保農耕地におけるムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類の個体数を、表は春のカウント結果をまとめたものです。

連休にもかかわらず、支部会員17名の協力が得られました。ありがとうございました。(石井 智)



春のカウント結果 (大久保農耕地)

年	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	合計
調査日	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	
天候	晴れ	雨	晴れ	曇り	雨	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	快晴	快晴	曇り	晴れ	曇り	晴れ	晴れ	快晴	快晴	曇り	快晴	晴れ	
1 タマシギ				2																			2
2 コサドリ	5	1	2	1	1	4			7	1		1	2	5	2	6	9	4	4	2	6	3	66
3 シロサドリ				1																			1
4 ムナグロ	400	444	488	624	474	386	381	277	127	534	178	143	130	115	304	153	190	413	3	444	283	98	6589
5 ケリ																1							1
6 キョウジョシギ	3	7	2	2				2	1			2	4		2	1		1		3			30
7 トウホソ				1																			1
8 ウズラシギ	2		2		1	1																	6
9 ハマシギ	2		10	30			24	1		9													76
10 アオアシシギ				4	2	1	7	3					7								2	1	27
11 タカアシシギ	50	52	69	16	4	6	6	13	25	5			1	5	2	1	1	6					262
12 キアシシギ	2			3								2	1					2		1		3	14
13 イソシギ	2		1									1					1						5
14 オグロシギ				1																			1
15 チュウシャクシギ	12	6	7	8	3	1	13	12	11	3	10	2	5	11	4	2	3	6	3	5	6	2	135
16 コシヤクシギ				1																			1
17 タシギ	14	30	39	11	43	36	21	10	26	12	3	6	3	3		1	2		13	3	8	8	292
18 オオシギ															1	1							2
タシギ属	1	1				3	2	1	2			1											11
19 アカヒルアシシギ			1																				1
シギ類						5																	5
合計	493	542	624	701	528	443	454	319	199	564	191	158	153	139	315	166	206	432	23	460	304	114	7528

渡良瀬遊水池—賢明な利用—

内田 孝男 (古河市)

5月18日(日)午後、栃木県小山市文化センターにて、日本湿地ネットワークとWWFJが主催する「みんなで考えよう 渡良瀬遊水池の賢明な利用」シンポが開催されました。

「干潟・湿地を守る日2008」登録イベントの一環です。

(財)日本野鳥の会会長柳生博氏、WWFJの花輪氏、蕪栗沼「ぬまっこクラブ」から千葉氏、日本野鳥の会栃木県支部長の河内氏、利根川上流河川事務所所長の田所氏を迎え、コーディネーターの浅野氏(渡良瀬遊水池をラムサール登録地にする会事務局)の進行で進められました。

「ラムサール登録とは…」から「渡良瀬遊水池の可能性、保全再生、賢明な利用、交流学习は…」まで、ラムサール登録地となっている蕪栗沼の事例、行政の立場から見た渡良瀬遊水池の現況、野鳥の楽園を実現すべくラムサール登録地にしたいと切望する野鳥の会等々のみなさんが熱く語りました。パワーポイントや映像を交えながらの2時間は短く感じられ、会場に参加された人々も熱心に聞き入っていました。

第1部では、『コウノトリの舞う里』と題して柳生会長が、豊岡市での取り組みや人々の熱い思いを語りました。同時に映像で豊岡市民が、なぜここまでこだわってコウノトリの復活に向けて努力し市が事業推進してきたのか、1955年から本格的に官民一体となつての保護活動や研究、様々な闘い、そして2005年にコウノトリが目前で再び大空を舞ったときの人々の喜びに満ちた顔と歓声が放映されました。

また、仕事の中で長きにわたり「生き物地球紀行」の番組作成に係り、多くの生き物を見てきた柳生会長の身振り手ぶりを交えた語りは、まさに映像を見ているようで、特に「コウノトリのための環境再生が生き物をよび、人をよび、懐かしい昔の米作りとなり、ブランド米として通常の2倍価格となった。これらは保全再生・賢明な利用・交流学习の手本です」の話が心に残りました。

当日は、会場に入る前の午前中、柳生会長はじめパネラー一行が遊水池を訪れ、小山市下生井・与良川の桜堤から第2調節池を望みました。緑一色のアシ原と河畔林、あちこちで囀るオオヨシキリ、セッカ、ヒバリ、カッコウ等の声の中、柳生会長は「コウノトリをよびたいなら遊水池だけを隔離して保全してもダメ、堤の向こうにいい田んぼがあるじゃない。米を作る人たちが『ぜひ来てほしいな!』という気持ちを持つような地域の環境を創ることが大切」と訴えました。

『渡良瀬遊水池—賢明な利用—』に導くポイントが見えています。地域の人々の理解なしには成り立たないことは十分にわかっています、そのためにさらなる理解を得るため、なお一層の出来るところからの努力が必要と感じました。

初めて三宅島へ行って来ました

小林みどり(大和市)

鳥を見始めて苦節(?)30余年。

先日、初めて三宅島へ行って来ました。私が行った“島”といえば、江ノ島、城ヶ島、天売島。島らしい島といえば、天売島について2番目です!

で、どうだったかと言いますと、着いた日はほとんど雨。翌日ようやく晴れて、さあ、鳥を見まくるぞ!と早朝探鳥していたら、いきなりの全島放送。

「東京行きの船の出航が7時半になりました。乗船希望者は7時までで・・・」

結局、島の滞在時間は26時間ぐらいでした。イイジマムシクイは、ばっちり近距離で見られたものの、アカコッコは後ろ向き、カラスバトは飛んでいるところだけ。これでもまだいいほうで、もっと気の毒な方もいらっしゃいました・・・。

でも帰りの海鳥は、結構楽しくて、ますますはまりそうです。

・・・海鳥といえば、先月はまた城ヶ島に行つて、クロトウゾクカモメを増やしてきました。太つて日焼けしたきつないアジサシだなと思ったら、クロトウゾクでした。



野鳥情報

さいたま市岩槻区野孫 ◇4月12日、チュウサギ1羽、初認。4月27日、ケリ1羽。5月2日、ケリ3羽。5月13日、ムナグロ28羽、チュウシャクシギ1羽、ケリ1羽。5月15日、ムナグロ50羽十、ケリ2羽。5月16日、ケリ8羽。5月21日、ケリが上空からモビングをかけているのに平気で畔を歩くカメラマンがいたので、大声で注意する。チュウシャクシギ1羽。6月6日、ケリ5羽（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇4月21日、アカハラ7～8羽の群れ、シロハラ、アオジなど冬鳥ばかり。4月24日、元荒川でオカヨシガモのペア。4月25日、ようやくコムドリみ2羽に会えた。4月29日、アカハラ約10羽の群れ、シメが残っている一方、センダイムシクイ3羽、キビタキ♀1羽、他の場所で声も聞こえる。コムドリみ2羽♀1羽に加え、さらにコムドリ約15羽が入ってくる。サンショウクイの声がするも姿は見えず。セッカ、オオヨシキリの声も響く（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区掛 ◇4月24日、ムナグロ65羽、ダイサギ2羽、チュウサギ4羽、コサギ1羽など。4月25日、ムナグロ110羽。4月26日、ムナグロ約60羽、キアシシギ1羽、タカブシギ1羽。4月27日、なぜかムナグロが消え、コアジサシ1羽のみ。4月



ケリ 狭山市入間川（久保田忠資）

28日、ムナグロ約40羽、アマサギ1羽初認。5月2日、ムナグロ30羽十。5月6日、ムナグロ約50羽とキアシシギ1羽の群れが2つ。5月13日、ムナグロ38羽。5月15日、30羽十（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区新方須賀 ◇4月24日、永代橋でコアジサシ1羽初認（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区大戸 ◇5月9日、アシ原に囲まれた水田でゴイサギ29羽（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区金重 ◇5月13日、ムナグロ約30羽。5月15日、20羽十（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区岩槻城址公園 ◇6月1日、アオバズク1羽（藤原寛治）。

さいたま市緑区大門 ◇4月17日、工事現場の水の溜まった地帯でタシギ2羽、イソシギ2羽、クサシギ2羽、オジロトウネン2羽、コチドリ約10羽。4月27日、同所でタシギ1羽、イソシギ2羽、クサシギ3羽、オジロトウネン1羽、コチドリなど。5月15日、同所でハマシギ2羽（鈴木紀雄）。

さいたま市緑区上野田 ◇6月11日、さぎ山記念公園の森でジュウイチの声。コゲラ2羽が、桜の幹で採餌に夢中（船木数樹）。

さいたま市桜区秋ヶ瀬公園 ◇4月22日、子供の森でオオルリ1羽ぐぜっていた（鈴木紀雄）。

さいたま市桜区大久保農耕地 ◇5月16日、A区でムナグロ45羽、キアシシギ1羽。Aサイド区でムナグロ43羽、キアシシギ1羽。B区でカッコウ1羽（鈴木紀雄）。

さいたま市桜区下大久保 ◇6月8日、鴨川排水機場でコアジサシ2羽、何度もダイビングしていた。オオヨシキリがさかんに鳴く（藤原寛治）。

さいたま市見沼区宮ヶ谷塔 ◇4月29日、ムナグロ28羽、田んぼに飛来し、鳴き交わす。やがて飛んで行った。やさしい声だった。5月1日、ムナグロ35羽、タカブシギ1羽、クサシギ1羽、コサギ3羽（本多己秀）。

さいたま市見沼区掛 ◇5月3日、チュウシャクシギ1羽、ムナグロ28羽、キジ（本多己秀）。

蓮田市川島 ◇5月2日、ムナグロ約120羽、キアシシギ2羽（鈴木紀雄）。

蓮田市笹山 ◇5月2日、ムナグロ12羽。5月6日、約20羽。5月13日、ムナグロ36羽、キアシシギ1羽。5月15日、ムナグロ30羽、キアシシギ1羽（鈴木紀雄）。

蓮田市城沼公園 ◇6月17日、ムクドリ若鳥の群れが39羽、芝生で採餌。カワセミ♂が杭の上から小魚を狙っていた。カワラヒワが2羽、綺麗な澄んだ声でさえざっていた。その他、キジバト、コゲラ、メジロ、ヒヨドリの鳴き声（長嶋宏之）。

蓮田市内某林 ◇6月21日、巣から落ちたのだろうか？ ツミのヒナがオナガの標的になっていた（細田敦史）。

春日部市不動院野 ◇5月6日、ムナグロ約20羽（鈴木紀雄）。

春日部市上大增新田 ◇5月9日、ムナグロ27羽（鈴木紀雄）。

春日部市谷原新田 ◇5月9日、ムナグロ52羽（鈴木紀雄）。

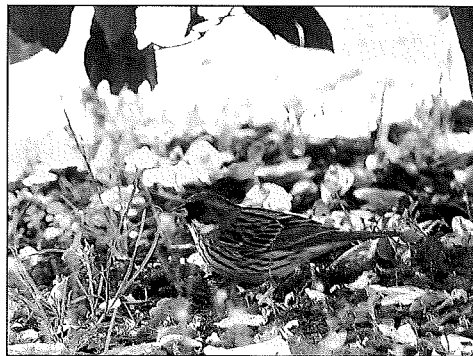
杉戸町清池 ◇5月7日、アオアシシギ7羽、30羽位のムナグロの群れに混じって、田の畔に並んでいた（本多己秀）。

松伏町魚沼 ◇5月8日、ムナグロ106羽、キョウジョシギ6羽、キアシシギ3羽、チュウシャクシギ7羽、アマサギ3羽、チュウサギ1羽、ダイサギ1羽など（鈴木紀雄）。

越谷市恩間新田 ◇5月9日、サギのコロニーは竹の勢いが衰えてきたのか、サギも少なめ。ゴイサギ、コサギ、ダイサギ、チュウサギの順（鈴木紀雄）。

熊谷市JR熊谷駅 ◇5月25日午後4時頃、熊谷駅南口付近の新幹線ホームのところでチョウゲンボウの幼鳥3羽がとまり、親鳥が1羽飛びながら鳴いていた。それから1時間後に確認したら少し違うところに幼鳥1羽がとまっているだけで、他の2羽と親鳥は見えなかった。初めに見たのは巣立った幼鳥を飛び立たせようと親鳥が誘っていたところだったのかもしれない。ここ何年かチョウゲンボウを熊谷駅のそばで見る事が多く、繁殖の可能性があると思っていましたが、やっと確認できた（森本國夫）。

滑川町武蔵丘陵森林公園 ◇6月13日、カイツブリ成鳥2羽が5羽のヒナを連れて泳



アオジ(今井雄雄)

いでいた。ツバメの若鳥15羽士が集団で罅をとっていた。その他、ダイサギ1羽、カワセミ1羽、アオサギ15羽士、マガモ♂1羽、ウグイスのさえざり、カワウ多数（長嶋宏之）。

加須市加須はなさき公園 ◇6月27日、ムクドリの若鳥25羽が、芝刈り作業の後からついて採餌。カイツブリ夏羽2羽、オオヨシキリ、セッカ、ヒバリ、コゲラの声（長嶋宏之）。

羽生市羽生水郷公園 ◇6月27日、コチドリ成鳥2羽、幼鳥1羽、使用していない駐車場の水溜りで水浴び。コアジサシ2羽、何度もダイビングして採餌。カワラヒワが稍でさえざっていた。その他、オオヨシキリ多数、ホオジロ♂1羽、カルガモ7羽、ゴイサギ成鳥1羽、カワセミ1羽、セッカ、キジの声、ヒバリ多数、コゲラ、カワウ各1羽（長嶋宏之）。

久喜市下早見の休耕田 北緯36.053度 東経139.656度 ◇6月27日、休耕田1枚の田んぼの畦に、チュウサギ11羽が羽繕いしたり、採餌したりしていた（長嶋宏之）。

表紙の写真

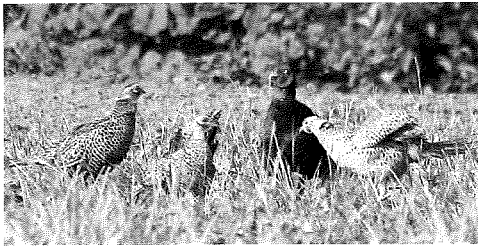
チドリ目レンカク科レンカク属レンカク

人が集まっても周囲の住民、環境や鳥に特に悪い影響は考えられない地理的状况であること、集まる人の数も少なくなっていることを聞き、重い腰を上げて茨城まで出かけたのは、一昨年の8月でした。

蟹瀬武男(さいたま市)



行事案内



キジ(落合英二)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章の担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちがあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費：就学前の子無料、会員と小中学生 50 円、一般 100 円。 持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡などの観察用具も（なくても大丈夫）。

解散時刻：特に記載のない場合正午から午後 1 時ごろ。悪天候の場合は中止、小雨決行です。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：8月3日（日）

集合：午前9時、北本自然観察公園駐車場。

交通：JR 高崎線北本駅西口アイメガネ前から

北里メディカルセンター病院行きバス

8:31 発で「自然観察公園前」下車。

担当：浅見、岡安、大坂、内藤、島田、立岩、永野(安)、永野(京)、山野、長谷川

見どころ：昨年8月の探鳥会では、19種を確認できました。暑い、暑い夏真っ盛りの探鳥会です。汗びっしょりで真夏の自然を体感します。ここはトンボの種類がとても多く、飛翔するヤンマを双眼鏡で追いかけるのもなかなか面白いものです。少年時代の夏休み気分！ 野鳥と昆虫を友に半日を楽しみましょう。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：8月10日（日）

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷 9:09 発、または寄居 8:49 発に乗車。

担当：中里、森本、大澤、倉崎、高橋(ふ)、後藤、藤田(裕)、栗原、飛田、新井(巖)、千島、鶴飼

見どころ：立秋を過ぎてそろそろ秋の気配と言いたいところですが、大麻生は暑さの真っ盛り。そんな中シギやチドリが南へ渡っていきます。荒川の河原にも立ち寄

って羽を休め、次なる旅立ちに備えています。鳥たちにエールを送りましょう。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：8月16日（土）午後3時～4時ころ

会場：支部事務局 108 号室

案内：作業後の暑気払い、いかがですか。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：8月17日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口。集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：楠見、福井、渡辺、倉林、若林、小菅、赤堀、新部、青木、増田、宇野澤、須崎、舟木

見どころ：夏の光の中でセッカが鳴いています。日射しを避けて斜面林の公園でゆっくり休憩。夏の帰省や旅で出会った鳥たちの話をしましょう。

千葉県・ふなばし三番瀬海浜公園探鳥会

期日：8月24日（日）

集合：午前9時30分、JR 総武線船橋駅改札口付近。集合後京成バス 9:40 発船橋海浜公園行きに乗車、終点下車。

交通：JR 武蔵野線南浦和 8:30→西船橋で総武線乗り換え。

担当：佐久間、菱沼(一)、玉井、齋藤、高橋(優)

見どころ：まだまだ残暑が厳しい最中ですが、シギ、チドリでは秋の渡りが始まっています。ここ三番瀬では年々数も多くなってきて、珍しい鳥が寄っていきます。さて今年はどうでしょうか。

千葉県習志野市・谷津干潟探鳥会

期日：8月31日(日)

集合：午前9時30分、JR京葉線南船橋駅改札口付近。

交通：JR武蔵野線武蔵浦和8:27→南浦和8:30→(直通)南船橋9:20着。

担当：杉本、手塚、菱沼(一)、長谷部、伊藤(芳)、野村(修)

見どころ：北の繁殖地から南へ帰る途中のシギ・チドリ類を観察します。幼鳥も見られます。難しいといわれる識別に挑戦してみても如何ですか。帽子、飲物、暑さ対策はお忘れなく。

リーダー研修会(要予約)

期日：9月7日(日)午前9時30分～午後5時(受付開始午前9時)

会場：北本市・埼玉県自然学習センター

交通：JR高崎線北本駅西口から北里メディカルセンター病院行きバス8:31発にて「自然観察公園前」下車。

申し込み：初めてリーダー研修会に参加される方は往復はがきに、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記して橋口長和

へ。8月31日まで。

役員・リーダーの方も電話またはメールにて、必ず事前に参加申し込みをお願いします。

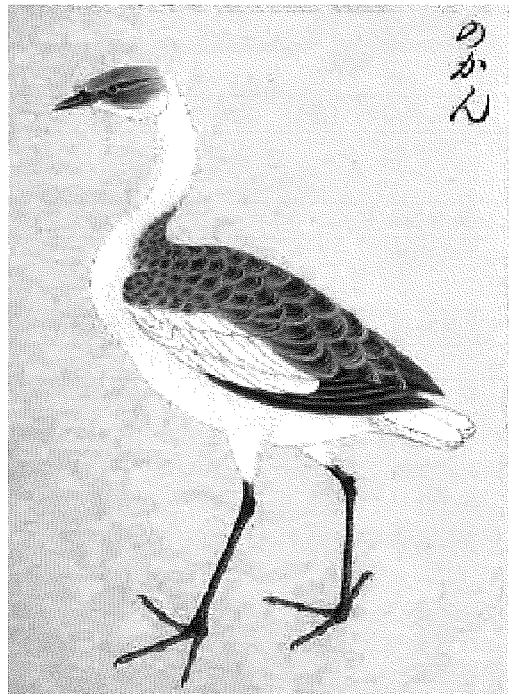
参加資格：探鳥会や支部活動にリーダーとして協力できる支部会員。

ご案内：本年は救急法を中心にしてプログラムを組みます。初めての方は新鮮な力を支部活動に生かすために、ベテランは足元を見直すために、ご参加ください。

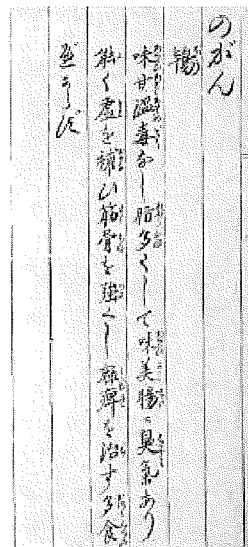
その他：筆記用具を持参してください。

(先月号「雨の日は国会図書館で」追加)

浅見 徹(さいたま市)



『華鳥譜』から のがん の図



なんとノガンまで食べていた!?
当時は数多く飛来していたのでしょうか?

“ちょっと臭いけど脂が多くて旨い”なんて、解説の福井藩医・森先生、食べたことがありそう。最後の一文は、“食いすぎちゃイカン”という意味?

写真は、何れも国立国会図書館のホームページから、許可を得て転載したものです。



行事報告

2月3日(日) 北本市 石戸宿

雪のため中止。

2月3日(日) さいたま市 民家園周辺

雪のため中止。

2月9日(土) 嵐山町 菅谷館都幾川

参加：39名 天気：曇

カイツブリ ダイサギ アオサギ トビ イカル
チドリ クサシギ イソシギ キジバト カワセ
ミ アオゲラ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ
セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ
ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス エ
ナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラ
ダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムク
ドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (33種)
(番外：ガビチョウ) 「雪注意報」が出ている
大変寒さの厳しい日ではあったが、小鳥の数の多
い1日でもあった。出発してすぐ、芝生上で採餌
する2羽のハクセキレイを観察すると、なんと1
羽には過眼線がないではないか。亜種ホオジロハ
クセキレイのようだ。都幾川沿いでは、カワセミ
数羽が乱舞。またエナガの群れが目前で観察でき
るなど数の多さにびっくり!! 小鳥も雪が降る前
に腹ごしらえをしているのかな? (後藤康夫)

2月9~10日(土~日) 宮城県 伊豆沼

参加：24名 天気：9日=晴、10日=曇時々晴

カイツブリ ダイサギ アオサギ マガン ヒシ
クイ オオハクチョウ マガモ カルガモ コガ
モ トモエガモ オナガガモ ハシビロガモ ホ
シハジロ キンクロハジロ ミコアイサ カワ
アイサ トビ オジロワシ オオタカ ケアシノス
リ ノスリ ハイイロチュウヒ チュウヒ コチ
ョウゲンボウ クイナ オオバン ムナグロ タ
ゲリ エリマキシギ オオハシシギ アオアシ
シギ タシギ ユリカモメ カモメ ウミネコ キ
ジバト アカゲラ コゲラ ヒバリ ハクセキ
レイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ

ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナガ シジ
ュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ オオ
ジュリン アトリ カワラヒワ ベニマシコ ス
ズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガ
ラス (60種) (番外：アヒル、ドバト) まずはマ
ガンとヒシクイの群れを堪能。ヒシクイ2亜種の違
いもじっくり観察する。圧巻だったのはねぐら入
りの光景で、山の稜線から次々に湧き出て、薄暮
の空を覆う万羽のマガンにただただ感動。宵から
10cmほど降雪があり、翌朝は新雪を踏みしめなが
らのねぐら立ち観察となる。冬枯れの1日目、雪
化粧の2日目と、伊豆沼・蕪栗沼は異なる表情で
私たちを楽しませてくれた。ところで、蕪栗沼で
アカアシシギかとされた鳥は、写真を確認した結
果、エリマキシギ♂と訂正する。(榎本秀和)

2月10日(日) 熊谷市 大麻生

参加：13名 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ コハ
クチョウ カルガモ トビ ノスリ ハヤブサ
バン キジバト カワセミ コゲラ キセキレイ
ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ
ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ
メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワ
ラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ ハ
シボソガラス ハシブトガラス (33種) 前日
の雪のため、雪の少ない道を選んだ。ゴルフ場脇梅
林の傍でベニマシコが鳴いている。皆で目を凝ら
したがとうとう姿を見ることができなかった。こ
のところ少なかったツグミの数が大分多くなって
きたようだ。途中、ユーカリの木にノスリが止ま
っていた。ここ大麻生では個体数がかなり多いよ
うだ。鳥合わせの場所に着くとコハクチョウが川
岸で見られた。これは予想外。うれしい結果とな
った。少人数で和気藹々の探鳥会だった。

(中里裕一)

2月11日(月、休) さいたま市 大宮市民の森

参加：95名 天気：快晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ コサギ カルガ
モ コガモ オナガガモ オオタカ バン オオ
バン キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ハ
クセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツ
グミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジ
ロ アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ

スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (32種) (番外:ドバト) 前日来の雪も融け、ヒバリのさえずりも聞こえ穏やかな天候だった。公園のロウバイ、紅白梅が出迎えてくれた。下見時は種数も少なく心配だったが、芝川沿いで上空にオオタカが出現し、カラスにモビングされながら斜面林の木にとまるというハプニングがあり、場が盛り上がった。クイナは残念だったが、カワセミ、オオジュリンは顔を見せてくれた。今回も多数の参加者があり、リーダー一同感謝。(工藤洋三)

2月14日(木) 戸田市 彩湖
参加:32名 天気:快晴

カイツブリ ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ アオサギ オシドリ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ ホシハジロ キンクロハジロ ノスリ チョウゲンボウ バン オオバン ユリカモメ セグロカモメ キジバト ヒバリ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ アカハラ ツグミ シジュウカラ メジロ アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (37種) 前日の風は凪いだ。管理橋の下手まで行くがヨシガモは見えなかった。池でオシドリのつがいが見られ、近くでアカハラ。だが、前日の強風の影響か湖にカモ達がいらない。釣堀の脇でまたアカハラを見て北へ。風が少し強くなる。栈橋近くになったところヨシガモ、ホシハジロ、キンクロハジロが出て、終わりにタヒバリ。安堵の胸をなでおろした。(倉林宗太郎)

2月16日(土) 滑川町 武蔵丘陵森林公園
参加:41名 天気:晴

カイツブリ カワウ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ ノスリ バン オオバン キジバト アオゲラ アカゲラ コゲラ キセキレイ ヒヨドリ モズ ルリビタキ ジョウビタキ アカハラ シロハラ ツグミ ウグイス キクイタダキ エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ カワラヒワ シメ スズメ ハシボソガラス ハシブトガラス (39種) (番外:ガビチョウ) 寒かったが風がなく、開始と同時にジョウビタキ、ルリビ

タキが出現。山田大沼までの各所で登場してくれた。(喜多峻次)

2月16日(土) 所沢市 狭山湖
参加:22名 天気:晴

カイツブリ ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ アオサギ マガモ コガモ ハシビロガモ トビ オオタカ ノスリ キジバト コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ルリビタキ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ シメ スズメ ムクドリ ハシブトガラス (33種) 林地、湖とも最近鳥の個体数が少ないのが淋しい。この傾向がいつまで続くのか気になる。オオタカがハシブトガラスを捕食するシーンをゆっくり観察出来たのと、玉湖神社裏の丘から白銀の富士を中心に丹沢から秩父までの連峰を一望できたのがせめてもの慰めとなった。(石光 章)

2月16日(土) 『しらこぼと』袋づめの会
ボランティア:5名

新井浩、大坂幸男、海老原教子、藤掛保司、松村禎夫

2月17日(日) 本庄市 坂東大橋
参加:25名 天気:快晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ キンクロハジロ ホオジロガモ トビ オオタカ ノスリ チョウゲンボウ イカルチドリ タゲリ セグロカモメ キジバト ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ アオジ カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (34種) 雲ひとつ無い快晴、出発直後にオオタカ、そして頭上間近にノスリがお出迎え、牧草地ではジョウビタキ、続いてベニマシコとこの辺までは順調。ところが一天にわかにかき曇り、河原に着く頃にはこれぞ赤城おろしとアピールするような強風。かつて名物だったカモは2種のみ。早々に河原を離れて土手に戻る途中、風を避けるように橋桁にとまるチョウゲンボウをじっくり観察。カモ以外はまあまあだったかな? 来年はカモさん達戻ってきてね。(新井 巖)



●一括納本作業完了しました

本誌 1984 年 5 月 6 月合併創刊号から本年 6 月第 290 号まですべて(一部コピー)を、6 月 16 日国立国会図書館に発送、一括納本しました。7 月号からは逐次刊行物として、毎月納本しています。

●支部会員の DVD

さいたま市在住の支部会員佐藤進氏が、DVD『日本百鳴鳥』を発売しました。182 種収録、2 時間 30 分。税込み価格(送料別) 3,990 円のところ、著者割引で税込送料込み 3,570 円。090-3061-8906 佐藤氏まで直接お申し込みください。



DVD の詳細については発売元(株)シンフォレストのホームページ(会社名で検索)で。

●柳生会長とタカの渡りを楽しむ旅

財団本部からの依頼 PR です。
企画 財団法人日本野鳥の会
催行日 10 月 3 日(金)～4 日(土)
集合解散 豊橋駅
宿泊 伊良湖ビューホテル
参加費 1 人 28,000 円(ツインルーム 2 名使用、1 泊 2 日 3 食、往復バス代)
募集人数 200～300 人
問合せ申込み 電話 048-650-0205
(株)JTB 関東 担当:栗原

●普及活動

6 月 14 日(土)、さいたま市立博物館と三室公民館共催の親子探鳥会。テーマ「おおぞらを飛ば鳥って楽しいな」。楠見邦博、新部泰治、青木正

俊、小菅靖が指導。

6 月 18 日(水)、本庄市立北泉小学校 5 年生の総合的な学習の時間で、町田好一郎が校庭内外の野鳥観察を指導。

●会員数は

7 月 1 日現在 2,215 人です。

活動と予定

- 5 月 24 日(土) 財団本部の評議員会に出席(橋口長和)。
- 6 月 14 日(土) 7 月号校正(海老原美夫・佐久間博文・志村佐治・藤掛保司・山田義郎)。
- 6 月 15 日(日) 役員会(司会:石川敏男、各部の報告・総会最終準備・12 月までの行事予定・その他)。
- 6 月 23 日(月) 「支部報だけの会員」に向けて 7 月号を発送(倉林宗太郎)。
- 5 月 28 日(水) 見沼たんぼ・さいたま市&市民ネットワーク総会等に出席(藤掛保司)。

●事務局の予定

- 8 月 2 日(土) 編集部・普及部・研究部会。
- 8 月 9 日(土) 9 月号校正(午後 4 時から)。
- 8 月 16 日(土) 袋づめの会(午後 3 時から)。
- 8 月 17 日(日) 役員会(午後 4 時から)。

編集後記

数えると来年 4 月が 300 号! Y 編集部長はビールを体内に補給し続けているだけに見えるが、じつは今から何か考えているらしい。(海)

今年 3 月に大決断をして始めたのが、『しらこぼと』創刊号からの探鳥会記録をデータベース化すること。約 7 万データの登録で苦行ではあったが、ついに 6 月に終わった。さてどうやって使っていこうか。(山口)

しらこぼと 2008 年 8 月号(第 292 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部
 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号
 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 <http://35.tok2.com/wbsjsaitama/>
 編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田 3 丁目 9 番 23 号 丸和ビル
 (財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5436-2630 FAX 03-5436-2635
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社